広報かじき
No.348
昭和58年 10月号
発行 加治木町
編集 総務課

スポーツに親しもう

天高く馬肥ゆる秋――
スポーツ・味覚・みのり・
食欲・読書・芸術…の秋。

十月十日は「体育の日」体育の日は、国民ひとりひとりがスポーツに親しみ、健康な身心をつちかい、明るく住みよい社会をつくることをねらいとしています。

じっとしていると、体はなまってしまいエネルギーも蓄えられ、太るばかり…。

太り過ぎは健康に大敵。

澄んだ秋空の下、おいしい空気をたくさん吸って体を動かしてみませんか。

みのりの秋（吉原にて）

◆人口22,951（＋1）男10,844（＋7）女12,107（－6）世帯数 7,742（＋1）58.9.1現在（　）前月比

仮称第三小学校の校区設定を答申

町立小学校区審議会

「仮称第三小学校」新設に伴う柁城・錦江両小学校区の適正な校区編成のあり方について審議していた『町立小学校区審議会』（岡山秀樹会長・委員二十人）は、八月十日、町教育委員会に対し「仮称第三小学校の校区は現錦江校区の鉄道線路北側地区と、現柁城校区の高井田・空港団地・春日団地の地区とを分割統合して設定することが望ましい。」とする答申を行いました。

校区を再編成し規模の適正化を

町教育委員会では、すでに敷地面積や校舎が文部省基準よりも不足し、プレハブ校舎で急場をしのいでいる柁城・錦江両小学校の窮状を打開すると共に、今後加治木団地等の開発に伴う児童の増加に対処するため「仮称第三小学校」の新設を進める一方、同校区内の小学校の配置及び規模の適正化を図るため、二月八日「町立小学校区審議会」に校区再編成について諮問しました。

審議会は、議会代表や地域代表、小学校長、PTA代表等二十人で構成され、専門委員会を設置し、鹿児島市の状況を調査する等慎重な審議を重ね、八月十日仮称第三小学校の校区を「現錦江校区の鉄道線路北側地区と、現柁城校区の高井田・空港団地・春日団地の地区とすることが望ましい。」と、校区を再編成し、規模の適正化を図るよう答申しました。

新設校の施設等には充分配慮を

答申では、両校が児童数の増加により、現在でも教室や敷地面積が不足して学校経営上問題が生じており、今後更に児童数が増加することが予想されるが、両校とも敷地等の関係で校舎増築は極めて困難な状況にあり「新設校を含め三校の校区を適正規模に再編成することが、将来の児童の幸福を増進することになる。」としています。

仮称第３小学校予定地

また、校区境界の決定については原則として自治会組織を分割せず、鉄道や道路等の地理的なものによって決める。新設校は、校舎や運動施設、通学路の整備等に充分配慮する必要があるとうたっています。

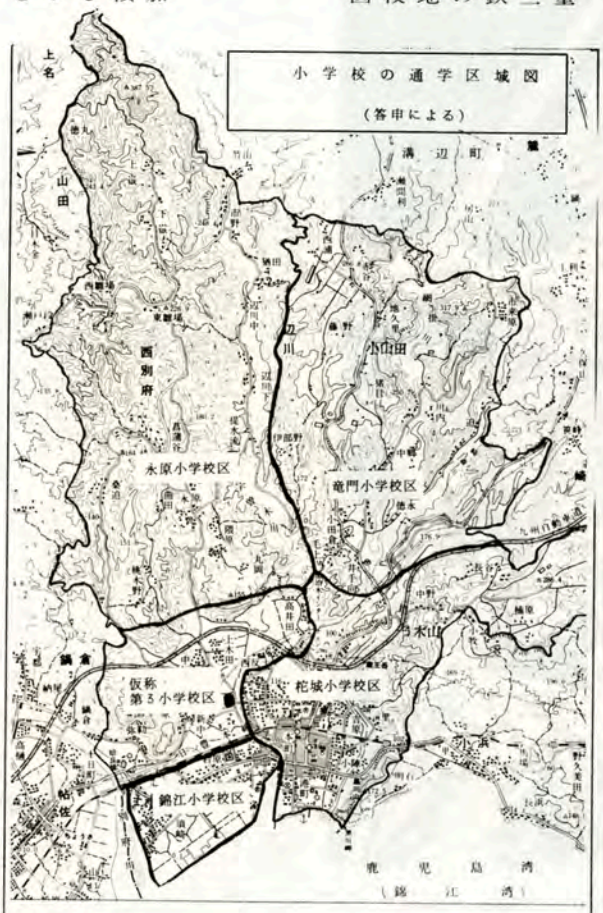
新設校は十二学級四百二十五人に

この答申どおり校区の再編成が行われると、各地区の児童数・幼児数が現状のまま推移した場合、昭和六十一年度に仮称第三小学校区は、児童数四百二十五人で十二学級、近い将来の増加を見込むと児童数六百四十七人で十八学級の適正規模校となることが予想されています。

また、柁城校は児童数一千四十人で二十六学級、錦江校が児童数五百六十一人で十五学級となることが予想され両校の問題点が緩和されることになります。

乙須教育長は、「適正規模の中でのびのびとした教育を行う事が必要だといえます。また、魅力ある教育を進めていくため、条件整備を進めていきたい。」と話されました。

なお、仮称第三小学校は昭和六十一年開校をめざしており、近く錦江第三地区の予定地で建設が始められることになっています。



（注）
★紙面の都合により「日木山（弓削・楠原地区）」は割愛しました。
「日木山（弓削・楠原地区）」は「柁城小学校区」です。

牛・豚が育てた産品評会
丹精込め町畜

昭和五十八年度町畜産品評会は、八月二十九日鎮守小学校跡地で行われ、各大字から丹精込めて育ててきた肉用牛四十八頭、肉牛八頭、種豚七頭の六十三頭が出品され発育の状態等を競いました。

このうち優秀と認められた肉用牛十一頭、種豚八頭、肉牛五頭が郡の畜産品評会に、肉牛五頭が十一月に行われる郡肉牛共進会に出品されることになります。成績は次の通りです。

▽団体成績（大字別）

肉用牛…①辺川②小山田

肉　牛…①小山田②木田

種　豚…①反土②小山田

▽個人別成績（最優秀）

肉用牛一部…東萩子（西別府）外園貢（辺川）東光義（西別府）江口昇（木田）川床利雄（西別府）樗木太（西別府）大宮路魁（辺川）新ハルヱ（西別府）

肉用牛二部

末吉キミ子（小山田）小宮路進（辺川）山口正春（小山田）

肉用牛三部

東シズヱ（西別府）末吉満也（小山田）前田秋義（小山田）

肉用牛四部

小宮路政一（辺川）中野光雄（辺川）小竹原久義（小山田）

肉用牛五部（高等群）

内村義光（小山田）

肉用牛六部（父系群）

外園貢（辺川）前田治美（小山田）新ハルヱ（西別府）

肉牛雌の部…中原正七（木田）市野親義（小山田）大脇修身（木田）市野清美（小山田）

肉牛去勢の部…市野隆志（小山田）

種豚雌の部

柚木満（反土）南原春男（小山田）

◎チャンピオン賞（農委会長賞）

肉用牛の部＝東萩子（西別府）

肉　牛の部＝中原正七（木田）

種　豚の部＝柚木満（反土）

肉用牛の部でチャンピオンに

スポーツを通じ親睦を
第五回　町福祉大会

第五回の町福祉大会は九月十八日、老人会、身障者、民生委員、精薄育成会、保護士会、母子会や望岳園のお年寄りら約二百五十人が、雨の中参加して町営体育館で盛大に開催されました。

福祉大会では、昭和三十三年町身体障害者福祉協議会設立以来、事務局長・会長として永年会の運営に努力されてきた児玉実憲さんら福祉活動に尽力してこられた十二人に表彰状が贈られました。

福祉大会に引き続き、スポーツ大会が雨のため体育館で行われ、加治木保育所の園児による遊戯のあと、八十メートル競歩や、ボーリング大会等の種目に、かねてスポーツに親しむ機会の少ない老人や身障者等が元気一杯挑戦し、親睦を深めました。

よくねらって

表彰を受けられた方は次のとおり。

児玉実憲（岩原西）大山一男（下新道）山下純男（川内）大宮路任（辺川下）富岡アヤ（札立）樗木テル（岩原西）岩元ミツエ（隈原上）有村悦子（中野）安田勲（東諏訪）野元道子（岩原東）鬼塚フミ（今町）梅田竹彦（西諏訪）

郷土史探訪 4
加治木城址

加治木の町を抜け、溝辺町・鹿児島空港へ向かうと坂道にさしかかるが、その左手の丘陵に加治木城址がある。

周囲約四キロメートルで、西北に楢木川をめぐらし、龍門瀧があり、南は四～五十メートルの絶壁で、東側は約百八十メートルの岩坂になり、一部山続きになっている。

その築城は定かでないが、平安末期加治木氏によるものと思われる。

鎌倉初期、島津忠久が三州の守護として薩摩に入ったころの加治木城主は、加治木氏八代の親平であった。

宝町中期、加治木久平は島津忠昌に攻略され阿多へ移された。

加治木氏の治世は二十一代四百九十年であった。

その後、島津氏の家臣伊地知重貞が城主になったが、島津氏に叛き攻め亡ぼされた。伊地知氏は三十一年で終り、溝辺の肝付兼演が加治木城に移った。

肝付氏は四代六十八年間城主であったが、文禄四年豊臣秀吉は加治木を直轄地とし、肝付氏を喜入に移し、石田三成を代官とした。

泗川の戦の功によって慶長四年加治木は島津氏に復帰した。

慶長十二年、島津義弘は重富から加治木に移る時、この加治木城に移る予定だったが事情により今の加治木高校の場所へ居を移し、以後廃城となった。

（次は「日木山石塔と肝付氏」を紹介します。）

「おばあちゃん元気ですか」

町長らが九十歳以上を訪問

長寿を祝福

元気に「敬老の日」を迎えられた九十歳以上のお年寄りの長寿を祝って九月十四日、町長をはじめ各団体長や、知事代理らが望岳園など四十四人の家を訪問しました。

上木田の扇薗カ子チヨさん(102)宅では、縁側まで出迎えたカ子チヨさんに町長が「おばあちゃん、元気ですか。みなさんは町の宝物です。少しのことにでも注意していつまでも長生きしてください。」と祝福し、贈物を手わたしました。

金対象者は五百二十三人で、町長が西諏訪の日高慶二さん(80)に証書を手わたし、「元気で長生きしてください。」と祝福しました。

また、長い間寝たきり老人等の介護をされている五十六人にもその労をねぎらい記念品が贈られました。

続いて、五十年間仲睦まじく苦楽を共にしてこられた二十七組の「模擬結婚式」が行われ、一組ごとに金婚の杯をくみかわし、長寿を喜びあいました。

金婚式を迎えられたご夫婦は、次のみなさんです。

瀬戸口正・静子(萩原)田代正直・末子(萩原)西浜一・チヱ子(吉原)原田晴男・ヒサヱ(田中)森一光・フヂヱ(西諏訪)内勇吉・サクラ(西諏訪)今井義春・サエ(天神)滝本伴之助・トメ(端山)谷口太吉・サキ(高井田)横山清・フミ(垂ノ口)町田実秀・正子(下浜)重富金蔵・アグイ(岩原西)松木政敏・キミ(岩原西)竹下鶴男・キミ(須崎)鹿屋兼隆・トメ(弥勒)竹下秀雄・カツ(弥勒)増田繁・文江(楠園)下枝三志・フチ(西ノ原)永原敬二・スミエ(永原)永山勝次郎・サダ(東ひなば)汰木清治・綾子(辺川中)向江武二・シケ(鶴原)宮脇基利・ヒデ(小田倉)鶴田義直・ミキ(赤谷)日高慶一・トミ(市来原)四元栄一・鈴子(豊町)吉屋安光・キミ(錦江町)

仲睦まじく共に50年＝26組が合同金婚式

50年ぶりの三三九度

敬老の日を前にした九月十三日、町の合同金婚式と敬老年金等の贈呈式が、町福祉センターで行われました。

八十歳以上の敬老年お年寄りに感謝しようと九月十五日、自立自興館で開かれた敬老会に参加し、歌や踊りを披露。

また、全員でお年寄りの肩たたきをして長寿をお祝いしました。

お年寄りの中には、思わぬプレゼントに涙をみせる人もいました。

肩たたきに思わず涙

西別府「ひこばえ」

全員で肩たたき

町の青少年自立自興運動モデル地区の子供会「ひこばえ」(西別府)は、日頃おせわになっている

長寿を願い寸劇披露

岩原「あすなろ会」

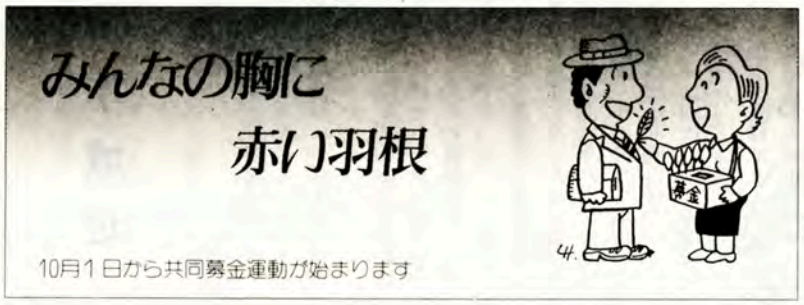
花を添えた寸劇

九月十五日の敬老の日には、町内各地域で、長寿をお祝いする行事が催されましたが、岩原公民館で開かれた敬老会では、あすなろ会(西島一成会長・会員二十人)が「まんじゅう地蔵」という寸劇を披露し、お年寄りの笑いの渦のなか、盛大な拍手を受けました。

「まんじゅう地蔵」は、堀田哲哉会員の創作で、甘い物が大好きで「饅頭をお供えすると長生きができる」という二つの地蔵の前を通り、敬老会に参加するお年寄りや地域の人たちの様子をおもしろおかしく演じるもので、岩原の店や、人の名前も飛び出す鹿児島弁の台詞や熱演にお年寄り達は大笑いしながら見入っていました。

新原文雄老人会長は「ひげのはえた地蔵や、足踏みする地蔵は初めて見た。愉快でした。」と話し、盛んに拍手をされていました。

脚本から小道具、そして演技指導まで自分達の手づくりで、本番に向けて二週間の特訓を重ねてきた「あすなろ会」の寸劇は、大いに敬老会を盛りあげました。



＝交通安全＝

死亡事故をなくそう

姶良西部地区総ぐるみ大会

井手恵さんの発表（子どもの立場から）

最近増加している交通事故を防止し、尊い住民の生命を守り平和な郷土づくりに努力しようと、九月十二日町福祉センターに溝辺、姶良、蒲生、加治木の四か町から町長や、交通安全協会員らが集まり第九回交通安全姶良西部地区総ぐるみ大会が開催されました。

大会に先立ち、県警音楽隊を先頭に、小学生や母の会等が市街地をパレードし、道行く人達に交通安全を呼びかけました。

大会では、田中高雄大会長が、「交通安全は地域住民の願いであるが、現状は死亡事故が多くなっている。一人ひとりが安全に徹し、交通安全運動への誓いを新たにする大会にしよう。」とあいさつ。運転手や婦人、こどもや事業所等それぞれの立場から総ぐるみ運動を推進してゆこうという発表の後、①自ら交通ルールをよく守り、事故の撲滅をはかる、②老人、子供及び身障者等の通行を守り、すすんで誘導する、③暴走運転の絶滅のため、きびしく監視する、④飲酒運転は絶対しない等四項目を実践していこうという大会宣言を行いました。

柁城小が学校賞に

県福祉作文コンクール

県が実施した福祉作文コンクールで柁城小学校が学校賞に選ばれました。また、個人の入賞者は次のとおりです。

▽**優秀賞**…八ケ代鳴水（柁城小五年）坪田千秋（柁城小六年）東こずえ（錦江小六年）

▽**佳作**…脇三夏（竜門小四年）日高みどり（竜門小五年）福薗雅美（竜門小五年）北森香代子（柁城小六年）西森久美（柁城小六年）美坂英樹（竜門小六年）日高律子（錦江小六年）

「わたしの願い」

（交通安全総ぐるみ大会で発表されたもの）

柁城小六年　井手　恵

わたしの祖父は志布志の町に住んでいます。今年七十歳になりましたが、元気に飛び回って社会教育の仕事をしています。「童話のおじさん」といって子供にしたわれ、県の表彰を受けたことがあります。わたしにとっても大好きな祖父ですが、去年のことでした。

加治木に遊びに来てわたしの家からオートバイで帰る途中、志布志の町近くになって安心したせいか、十字路で自動車とせっしょくしてたおれ、左足を折ってしまいました。

「気をつけてね。」といって別れてから、二時間ほどたって事故の知らせが届きました。わたし達はほんとにびっくりしました。幸い足のこっ折だけでしたが、年な体だけに二か月余り入院していました。その期間はとってもつらかっただろうと思いました。

このようにわたしの身近かにも交通事故がおこったのです。

また、夏休みの終りにわたしの学校の三年生の男の子が、自転車に乗って坂道を下っていて、出合いがしらに自動車としょうとつして足のほねを折る大けがをしました。楽しい運動会を目の前にして今も入院生活をしています。

このような交通事故は、日常おきていて、テレビや新聞で報道されない日はありません。ついこの前鹿児島県内では、交通事故の死者が百人をこえたため、県警が「とむらい作戦」を行いましたが、その日のうちに子供が死にました。

交通戦争といわれるように、毎日毎日交通事故のぎせい者は増えています。本当に恐しいことです。

わたしの学校にも交通事故で父親を失ったお友達が二人います。かわいそうでなりません。

交通事故は、明るい家庭を一しゅんのうちに不幸のどん底におとし入れます。加害者もひ害者も、どちらにとっても不幸です。このように死傷者が増え、不幸な人が増えるほど恐しいことはありません。

いつどこで事故がおこるかわからない生活はいつも不安です。

世の中から、交通事故をなくすることはできないでしょうか。

大人の飲酒運転、若い人達のスピードの出しすぎや無ぼう運転、子どもの自転者乗りや、急な飛び出し、どれもこれも事故につながるものばかりです。世の中から車がなくならない限り交通事故はなくなりません。でも車社会の現代では、大人も子供も気を付ける以外に方法はありません。みんなが交通のきまりを守って行動すれば事故は防ぐことができます。

そのために運転をする人が交通法規を守ること、子どもやお年よりは、歩道を通り信号を守り、飛び出さないこと、小さな子どもの一人歩きをさせないことなど、一人ひとりが気を付けることが一番大事だと思います。

また、交通事故防止をお互いに呼びかけることも大事です。九月二十一日から秋の全国交通安全運動が始まります。わたし達の柁城小学校では、交通安全協会の人達とパレードに参加します。五年生全員が鼓笛隊をつくり町の中をパレードします。その時に、放送委員会の人が「交通事故をわたし達の手でなくしましょう。交通事故のない明るい町にしましょう。」と広報車に乗って呼びかけて回ります。また毎月五日と二十日には、PTAのお母さんや先生が交通指導をしてくださいます。

わたし達小学生でできることは、決まった通学路を登下校すること、歩道や右側を通ること、交差点での信号を見てわたること、自転車の二人乗りやスピードの出しすぎ道路への飛び出しなど、絶対にしないようにすることです。中でも自転車の遊びはやめたいと思います。

わたし達も交通事故をおこさないように気を付けます。お父さんお母さんお兄さん達も絶対に交通事故をおこさないようにして下さい。これはわたし達、子供の心からのお願いです。

諏訪チーム四回目の栄冠

第十回チビッ子ソフト大会

アウト？セーフ？

町商工会主催の第十回チビッ子ソフトボール大会は八月二十八日、加治木工業高校グラウンドで開催され二十三チームが熱戦を展開しました。

決勝では、諏訪チームが第七回大会から連続四回目の栄冠を勝ち取りました。

結果は次のとおりです。

▽優　勝…諏　訪
▽二　位…城　南
▽三　位…岩原西

剣道を通じ自己鍛練

第五回防犯少年剣道大会

優勝した加治木Aチーム

八月二十七日、町営体育館で西姶良地区防犯協会連合会（東國雄会長）主催の剣道大会が開催され、地区内の十七のスポーツ少年団員百二人が参加しました。

これは、剣道を通じ青少年の自己鍛練を図ろうと実施しているもので、会場には「かっこより心のいい子正しい子」等の標語が掲げられ、熱戦が展開されました。

結果は次のとおりです。

優勝…加治木A、二位…柁城、三位…重富A・重富B

気合いするどく型を競う

町空手道スポーツ少年団

剣四方の型などを披露

町空手道スポーツ少年団（児玉国重教士七段・団員七十人）は、八月二十七日加治木高校体育館で、夏休みの思い出づくりにとこれまで鍛えてきた技を競い合う大会を開きました。

大会は、四部門に分かれて、二人が同時に「剣四方の型」「千三（せいさん）の型」等を披露し合い、応援の父兄から盛んな拍手を受けました。

児玉先生は「年齢の異った子供達だが、空手を通じて仲間づくりができ、輪が生まれている。

また、良くあいさつをするようになった、と言われます。」と話され、青少年の健全育成にも努められています。

各部門の優勝者は次のとおり。

▽小学校・低学年の部＝立山航史
▽小学校・高学年の部＝吉村智尋
▽中学生の部＝重　成美
▽高校・一般の部＝藤元さゆり
◎総合優勝＝吉村智尋（柁城小学校・六年）

ふくしの窓口 ⑥

重度の障害児に支給「特別児童扶養手当」

精神または身体が、重度の障害の状態にある二十歳未満の障害児を、家庭で養育・監護している父母、その他の者に「特別児童扶養手当」が支給されます

支給額

一級障害児……一人三七、七〇〇円
二級障害児……一人二五、一〇〇円

支払期

四月、八月、十二月（前月までの四か月分を郵便局で支給）

適用除外など

児童が障害を事由とする公的年金を受給している場合や父母または養育者の前年の所得が、一定額以上である場合には、手当は支給されません。

申請手続き

特別児童扶養手当を受けようとする場合や詳しいことは、町福祉課へお尋ねください。

百五十三人が有段者に

剣道昇段審査

剣道連盟加治木支部（増田昌弘支部長）が主管する剣道昇段審査が九月十五日、加治木町営体育館で開催され、初段から三段までのそれぞれの昇段を目標に百九十四人が日頃鍛練した技を披露し、百五十三人が昇段しました。

また、この審査に先立ち九月十一日には町営体育館で、剣道講習会が開催され、昇段審査を受験する百六十五人が真剣な表情で指導を受けました。

昇段審査の結果は次のとおり。

▽初段合格者…九十九人
▽二段合格者…二十四人
▽三段合格者…三十人

二十三チームが熱戦

町ソフトボール協会結成記念大会

町ソフトボール協会主催の結成記念大会は、Aクラス十三チーム、Bクラス十チームの二十三チームが参加し、九月五日から十六日まで行われ熱戦が展開されました。

決勝戦の結果は次のとおり。

▽Aクラス
竹之内ジャイアンツ　4（優勝）
竹之内鈑金　3

▽Bクラス
プリンス　13（優勝）
セントラル　1

県『少年の船』に参加して

加治木中学校２年　戎　智子

県の青少年自立自興運動の事業の一つとして実施されている『少年の船』に参加した上枝久美子班長ら十一人は、九月二十三日県青少年会館で開かれた「事後研修」に参加。すべての研修を終えました。

これから子ども会等のリーダーとして、活動が期待されます。

明治村の見学も

薩摩義士について学び

私は、少年の船に参加し、本当に多くのことを学びました。

六日間の間、いろいろなことを勉強しましたが、一番自分のためにもなったのは、薩摩義士の話でした。

薩摩藩は、幕府の命令にもそむかず、最後には、自分らの命までなくして、岐阜県の治水工事を成功させたということに、私は今までになかった感動をしりました。

今の世の中に、自分の命をすてまでも人に役立とうとする人がいるでしょうか。

私は、今の世の中で〝自分一人よければ〟という考え方を薩摩義士たちのように、平田勒負を頭に〝みんなと協力し合う〟考え方に変化させていけば、生徒会活動や子ども会活動はもっともっと盛んになると思います。

それから私は、薩摩義士の話を読んで疑問におもうことがたくさんありました。

疑問に思った中の一つですが、機械もない昔にどのようにして治水工事をしたのでしょうか。

しかし、薩摩義士たちは、機械がなくとも、自分たちの力で治水工事をやりとげたのですから、幕府よりもずっと大きな勢力を持っているのではないだろうかと思います。

本当に、平田勒負や薩摩義士たちは、尊敬しなければならない人物たちです。

私も、薩摩義士のように、みんなと協力し、自分の地域や加治木町に自立自興運動をひろめようと思います。

最後に、この少年の船は一生にない思い出になると思います。

青少年の豊かな心を育てよう ⑥

子供たちに「基本的な生活習慣」を身につけさせるには、健全な心を育てていくと同時に、健康な体をつくることも重要です。

特に小学生、中学生のころは、体の発達が一生のうちでいちばん盛んです。この時期に体を鍛え、たくましい体と精神面での粘り強さを身につけさせるようにしましょう。

一般に、遊びやスポーツで体を動かす子供は、そうでない子供に比べ、次のような点で優れているといわれます。

①運動能力
②体の健康
③社　会　性
④情緒の安定
⑤知的能力――。

運動といった場合、大人は体を鍛えるためにジョギングするなど健康や体力づくりの手段として考えます。しかし、子供にとっての運動は、じっとしていられず夢中になり、楽しく面白く体を動かすというのが最も自然な形です。

毎日の生活の中に体を動かす遊びを取り入れたり、日曜日などには、次の例のような学校活動や地域活動に参加して、子供を戸外で遊ばせるようにしましょう。

基本的な生活習慣

子供は外で遊ばせよう

子供を戸外で遊ばせる工夫

▼土に触れさせる▲

- はだし遊び、どろんこ遊び
- 花づくり、野菜づくり
- アリやモグラなど、土の中にすむ生物の観察
- いも掘り、山菜とり、潮干狩り

▼屋外スポーツをさせる▲

- オリエンテーリング、ハイキング、山登り
- 遠泳
- スキー、スケート

▼自然の中で生活させる▲

- キャンプ
- 臨海学校
- 林間学校

国際色でバズンダ運動会

ロバートさん（ニュージーランド）も出場

里ノ下自治会

日木山・里ノ下自治会（花牟礼親会長、戸数七七戸）では、九月十一日に精矛神社の境内で「敬老大運動会」を行いました。

第十回目を数えたことしの運動会には、ニュージーランドから、女性の珍客も参加、ビン倒しや宝つりなどの競技に特別出場。

「日木山の運動会も有名になったモンナ…外国からも来賓が来るようになった。ヨカコッナー」と老人席のお年寄りも大喜び。

この女性はニュージランドのE・D・ロバートさん（五二）で、日木山黒川の下津佐照和さん（二九）を訪ね滞在中、たまたま開かれる日木山の運動会をぜひ見たい——と、里ノ下の知人の紹介で当日参加したものです。

ハダシで出場したロバートさんの一挙一動に会場内は、大きな拍手と大爆笑の連続。昼食時に初対面のあいさつと、お礼回りのロバートさんを迎えた各テント内では手振り、身振りと併せた片言まじりの「カライモ弓詰」が次々に飛出しガッツイ、話しの内容が通じるのか「オー・イエス」と大喜び。

みんなの歓迎振りに乗ったロバートさんは、ついに「かごしまオハラ節」の音色に誘われ、ニュージーランド風の「オハラ節」を特別に披露し、みんなの目を楽しませました。

こうして日木山での楽しい一日を過ごしたロバートさんは「一つだけさびしかったのは、会場の万国旗の中に、ニュージーランドの国旗がなかったことです」と話しながら、次のようなメッセージを日木山（里ノ下）の人達に残し、京都への旅へと出発しました。

メッセージ

大変たのしい、おもしろい一日でした。私は来年も、この地域の運動会には、また参加することを願っています。

私はニュージーランドの旗を送りたいと思います。そして皆様に、私にすばらしい一日を与えてくださったことに大変感謝します。

E・D・ロバート

力を込めて…（高井田の綱かき）

十五夜の綱つくりを

青少年健全育成モデル地区

高井田自治会
錦江三地区

九月二十一日は十五夜。中秋の名月はあいにくの雨に隠れてしまいましたが、各地で十五夜行事が催され、町の青少年健全育成事業モデル地区でも、昔ながらの綱つくり等が行われました。

高井田自治会（原園光若自治会長、二百三十戸）では、九月十六日から四日がかりで大人も子供も一緒になって綱かきをしました。

綱の芯になるカズラは毛上まで取りに行き、大人三人が「グィ、グィのグィ」と掛け声も勇ましく百五十束のワラを使い五十メートルの綱を作りました。

子ども達もワラ集めや、綱の芯に下がって支えたりとお手伝い。

九月二十二日、出来あがった綱の前で十五夜の話を聞いた後、男女対抗等の綱引きを楽しみました。

錦江三地区（岩崎貞光館長）でも子ども達が各戸を回ってワラを集め、各自治会ごとに交替で、六十メートルの綱をつくりました。

九月二十一日には時折降る雨をものともせず、子供も大人も一緒になって綱引きを行いました。

綱引きに喚声が（錦江三地区）

相撲大会に熱戦

新生町三自治会

新生町の三自治会（小鳥・中央・赤坂）では、自治会どおしの交流を図ろうと九月二十二日、合同で十五夜行事を行いました。

ストアー用地の空地で開かれた相撲大会では、大声援のなか女の子も熱戦を展開。すばらしい投げ技も飛び出し審判も大奮闘でした。

中秋の名月の下、みんなで楽しい夜を過ごし、親睦を深めました。

名勝負の一番

竜門句会

葛の花渓声日々に澄みまさり　鶴田　耕
神杉の百幹の鉾霧まとふ　川崎　黒兎
暮れ初めて夕顔月に向いけり　高木　正男
青芒高千穂の裾ここに尽く　加藤　白柳
海原のかなた大隅稲妻す　柳田　稔
チャイム鳴る夕べ静かに萩の風　井之上透山
噴煙の島より立ちて秋の虹　三浦　ゆう
掃くほどに紫匂ふ萩の花　上野　光
かなかなや苔の袈裟かけ石佛　横山　江南
押花のコスモスはらり聖書読む　古江　重美
座敷より数へる色に柿育つ　恒吉　斗南
老婆手に僅かばかりの貝割菜　宮脇　思川

10月11日～20日は「全国防犯運動」です

十月十一日から二十日までは「全国防犯運動」――。ドロボー（侵入盗）にもいろいろありますが、手口別にみて最も多いのが空き巣ねらいです。行楽の秋を迎えて、家族そろって出かける機会も多くなります。カギかけは家族みんなの合言葉――これを機会に〝わが家の空き巣対策〟について考えてみましょう。

わが家の空き巣対策四か条

他人の家に忍び込んで盗みを働く――空き巣ねらいは、いわばドロボーの〝プロ〟による計画的な犯罪です。それだけに、留守中の守りは「確実な戸締まりと、ご近所の協力」を徹底させたいもの。家を留守にするときは、必ず次の四点に注意しましょう。

1 カギをかけたかどうか もう一度 確認を！

空き巣ねらいの被害のうち約四割は、カギをかけ忘れたところから侵入されています。

玄関や勝手口ばかりでなく、応接間をはじめ浴室の窓、トイレの高窓や二階の窓もよくねらわれます。「まさか、こんなところから…」といった勝手な思い込みは禁物です。

出かける前には必ず見回り、カギはかけたか、戸締まりは大丈夫か、もう一度確認を。

2 玄関にはCPマーク つきのカギを

カギは性能の良いものを選びたいもの。そんなとき役に立つのが「CPマーク」です。

このマークは、警察庁の厳しい検査に合格し、優良防犯機器として認定されたカギにだけつけられるものですから、安心して選べます。

なお、玄関には主錠のほかにもう一つ補助錠を取りつけると、より効果的です。

3 〝ちょっとの留守〟 でも必ず戸締まりを

空き巣ねらいは、家に侵入して四、五分もあれば〝ひと仕事〟を終えるといわれるほど素早い犯罪です。短時間の外出でも必ず戸締まりを。空き巣ねらいの被害の約四分の一は、買物などで留守になりがちな午後二時から四時の間に発生しています。

4 新聞や牛乳を外に ためないように

洗濯物が出しっぱなしだったり、新聞や牛乳が新聞受けなどにたまっているのは、留守であることを告げているようなものです。

一日以上家を空けるときは、配達を断るか、取り片づけを近所に頼んでおきましょう。

今月は町民税・固定資産税の第三期の納期です。

〈筆者紹介〉

上萩大治氏（57）は、昭和十九年旧制加治木中学校を卒業。現在、加治木警察署に勤務されています。

私達の身近かにある薬草について十八年以上も研究されており、深い知識を持っておられます。

今号から、「薬草・知られざる効き目」を連載します。ご精読を…。

薬草 知られざる効き目

ごま

身近かにあるのに忘れられがちな「ごま」は、インドとエジプトが原産地で、中国を経て日本に飛来した。そのすぐれた効用を…。

ものもらいの膿（うみ）が出たら、ごま油をつけると根が切れて再発しません。耳の穴がはれたり、虫が入ったら二、三滴たらすとよい。

乳不足、白髪（しらが）にごまを食べ、ひび、しもやけにごま油をすり込み、魚貝の中毒にごま油を食べると効きめがある。釘（くぎ）ふみにごま油をつけ、歯ぐきのはれにごまを煎じて飲み、赤ん坊の鼻づまりにごま油二、三滴たらすとよろしい。

ごまを常食すれば、強壮、老すい、がんの予防、高血圧、塩分のとりすぎによる動脈硬化、特に心臓動脈硬化に卓効があり、さらに若返りと肌をなめらかにする作用がある。

胡麻叩き
秋の晝寝（ひるね）を
覚ましけり　月二郎

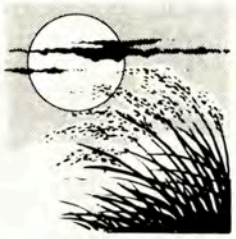
ごまは、黒・白・淡黄色とあるが黒色が効果が大きい。店で求める場合、いりごまは着色したのがあるので、生を買った方がカクジツである。

ごまは砕かなければ、そのまま通過しますので、必ずすりつぶしてください。

中年過ぎ、老けこみを気になさる方、お風呂上がりに、おへそにごま油を二、三滴たらしてお休みになると、若返りの秘効があります。

うば桜にむち打って回春の情再び…。お試しあれ。

お知らせ



「走る県政教室」参加者を募集

県では〝郷土の教育・歴史・文化施設で学ぶ〟をテーマに、十月二十一日開館する黎明館と青少年研修センターを見学する「走る県政教室」の参加者を募集しています。どしどしご応募ください。

▽**見学日時**…十一月二十九日(火)九時～十六時三十分（八時四十五分加治木合同庁舎前集合）

▽**見学場所**…黎明館及び県立青少年研修センター

▽**参加対象者**…国分市、姶良郡に住む十八歳以上の方、五十人（定員オーバーの場合は抽選）

▽**参加料**…無料（但し、昼食代及び入館料等は参加者負担）

▽**申込み方法**…往復葉書に住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入し、十一月十六日（当日消印有効）までに申込むこと。

▽**申込み先**（〒八九九－五二）加治木町諏訪町十二　加治木財務事務所内　姶良地域振興連絡協議会（〇九九五六－三－三二一一）

町美展の作品を募集

町教育委員会では、第二十五回町美術展（十一月十一日～十三日）に展示する作品を募集しています。

洋画、写真、書など皆さんの作品をお寄せください。

作品の応募締め切りは、十一月八日(火)です。

行政相談所を開設

十月十六日(日)から二十二日(土)まで「秋の行政相談週間」が行われます。

この行事の一環として、本町においても、行政相談所を開設し、行政相談委員の新納正教さんが相談に応じます。

国や県・町などの仕事についての意見や要望、問い合わせなど、是非この機会をご利用ください。

相談は「無料」で「秘密」は厳守します。

▽**日時**＝十月二十日(木)十時から十五時まで

▽**場所**＝町福祉センター

うぶ声

八月二十一日から九月二十日まで受付分

出生児	保護者	
市来原大輔	誠	自治会 永山
有馬 寛剛	久光	吉原
玉利 修久	彰平	蒲生田(一)
前原 睦	伸作	西塩入中
日高 恭子	俊弘	豊町
松下貴美子	広利	蔵王団地
前岡 豪	昌利	下浜
有村 正志	正己	春日団地
福岡 陽一	純則	西江口団地
向江 優作	求	鶴原
山下 洋介	千尋	反土黒川
津崎 美佐	高男	蔵王団地
穂森 夏美	力	上木田
小竹原愛子	義則	西江口団地
堂森 拓真	政治	西江口団地
四元 貴子	義次	端山
内田 仁	信義	蔵王団地
楠元 康規	健一	田中
生見ありす	強	高井田
佐々木孝樹	博孝	下浜
村山 光喜	利春	柳田
下猶 聖明	孝夫	春日団地
内村 昌弘	敏春	春日団地
松吉 大作	敏昭	西江口団地
池田 まみ	輝美	口ノ町
平田 朋子	眞佐司	東塩入
江口 辰則	光則	弥勒
三宅 光	光廣	蔵王団地
白尾 國貴	國豊	於里

御寄付

香典返しの代わりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

五万円　市来原　内村サチエ（夫親男65）
二万円　東塩入　村下久信（母キク96）
五万円　垂ノ口　吉村一彦（父初彦79）
一万円　向江町　大久保末雄（母イト81）
二万円　上東木　鶴田貞義（妻美津子67）
二万円　須崎　宮路ハツエ（夫孫七81）
二万円　上川内　犬童貞己（母カメ88）
二万円　高井田　岩元喜代（夫清志84）
二万円　川内　川内ケサノ（夫益見74）
五万円　下浜　村田久佐子（夫正明70）
五万円　城　竪山チヨ（夫正雄84）
三万円　下東木　渋谷正夫（父長一82）
五万円　蒲生田(一)　玉利一男（母スミ91）
三万円　新開　松葉瀬子供一同（母エダ89）
三万円　楠園　末永菊雄（おば福元ケサキク99）
一万円　江口団地　東木ヒサ子（母ライク86）
一万円　隼人町　有川麗子（義父澄男72）
三万円　萩原　池田富貴子（夫弘隆30）
三万円　向江町　橋口正光（母ケサノ87）
二万円　西反土後内村一美（母ヨシ79）
十万円　中塩入　池畑勝宣（父守夫78）
三万円　弥勒　木佐貫スミエ（夫邦彦83）

＝町国民年金協議会へ＝

一万円　東塩入　村下久信（母キク）
五千円　東塩入　川辺貞光（父仙次郎91）

＝町育英奨学資金へ＝

五万円　下浜　村田久佐子（夫正明）
二万円　城　竪山チヨ（夫正雄）

▽九月二十日までのご寄付を掲載いたしました。

心配ごと相談

毎週木曜日・午前中
福祉センターで。
お気軽にどうぞ！